

## 実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名		鳥取短期大学		設置者名		学校法人 藤田学院		
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成26年度)			
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業生数	免許状取得者数		教員 就職者数
						実数	個別	
	国際文化交流学科	40人	中二種免(英語)	平成12年度	41人	3人	3人	0人
	生活学科 食物栄養専攻	50人	栄教二種免	平成17年度	42人	10人	10人	0人
	幼児教育保育学科	145人	幼二種免	昭和46年度	137人	135人	135人	7人
入学定員合計		235人	合計		220人	148人	148人	7人
備考	<p>・「学部・学科等の名称等」欄は、平成27年4月1日現在の名称・定員である。</p> <p>・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数である。</p> <p>・平成26年度入学生より入学定員を、国際文化交流学科においては50名から40名に、幼児教育保育学科においては120名から145名に変更した。従って、平成26年度卒業生の定員と記載の入学定員は異なっている。</p>							

## 教職課程実地視察大学に対する講評

実地視察日：平成27年10月23日（金）

実地視察大学：鳥取短期大学

実地視察委員：坂越正樹委員，野崎武司委員

## 【全般的事項】

- 教員養成に関する教育課程及び教員組織等については、おおむね良好に実施されている。引き続き教員養成の水準の維持・向上に努めていただきたい。

## 【個別事項】

## 1. 教職課程の実施・指導体制（全学組織等）

- 「地域の発展に貢献する人材を育成する」といった建学の精神を基に、地域に貢献する教員の養成を目的とする理念・構想が示されている。それを具現化するための教職課程に対する全学的な組織，教育課程及び教員組織をより一層充実させるように努めていただきたい。

## 2. 教育課程（教職に関する科目及び教科に関する科目），履修方法及びシラバスの状況

- 「教職に関する科目」について，教育職員免許法施行規則第6条第1項表に定める「含めることが必要な事項」が含まれているか否か，シラバスからは判断できない授業科目や，科目の趣旨に照らして適切でないと見受けられる授業科目名称があるため，法令で扱うこととしている内容は必ず扱うとともに，科目の趣旨に照らして適切な授業内容となるように，内容を再度検討すること。なお，シラバスの記載内容及び記載方針を定め，法令に定める「含めることが必要な事項」が取り扱われているかどうかを，シラバスの授業計画から確認できるようにすることも御検討いただきたい。
- 「教職に関する科目」のうち，一部科目について，テキスト・参考資料の不足が確認されたため，シラバスへ追記すること。
- 中学校教諭と栄養教諭の「教職に関する科目」について，教職課程認定基準4-9で共通開設できない授業科目について一部共通開設している授業科目があるため，法令の基準を満たすよう速やかに是正すること。
- 教職に関心のある学生が早い段階から教職の魅力や教員としての適性等を把握する観点から，「教職に関する科目」中の「教職の意義等に関する科目」の配当年次について御検討いただきたい。
- 「教科に関する科目」「教職に関する科目」ではない大学独自の科目として地域への思いを育むことを目的とした「山陰論」などの特徴的な授業科目が設けられている点は魅力的であり，今後教員免許を取得するための単位として位置づけることについても御検討いただきたい。

## 3. 教育実習の取組状況

- 教育実習は、大学の教職課程・学外実習委員会によるサポート、附属幼稚園の効果的な活用、倉吉市との連携などから大学の近隣の学校を主に教育実習先として確保しつつ丁寧な教育実習指導が行われている状況が確認された。引き続き、地元教育委員会・学校と連携を進め、巡回指導を含め、適切な教育実習指導に努めていただきたい。
- 教育実習に行く学生について各学科で厳しく指導、選抜したうえで送り出していることが確認された。

## 4. 学生への教職指導の取組状況及び体制

- 各学科の教職指導担当教員を中心に、教職課程履修学生のレポートや履修カルテに対して積極的にコメントを書き込むなど、きめ細やかな履修指導を心がけていることが確認された。
- 一方、全学としての共通認識を基礎に学生への履修指導を行うことができるよう、教職課程・学外実習委員会のさらなる活用を期待したい。

## 5. 教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況）

- 学科ごとに近隣の幼稚園や学校と連携し、ボランティア活動やゲストティーチャーの招聘を行っていることが確認された。単位化の検討も含め、更なる充実を期待したい。

## 6. 施設・設備（図書を含む。）の状況

- 給食管理実習室、附属幼稚園、シグナスホール（体育館）、コンピュータ室などいずれの施設も整備・充実していることが確認された。
- 図書については、学習指導要領や関連雑誌など教育実践に係る学習に資する図書等を更に充実していただくよう今後、努めていただきたい。

## 7. その他特記事項

- 地域に根ざした高等教育機関として、地域のニーズに応えるべく魅力を発揮しており、特に幼稚園や保育所での保育者養成については県内の拠点ともいえる状況であることが確認された。
- 全ての教員が全学生1人1人の顔と名前を覚え接することを基礎に、学生への丁寧な履修指導が行われていることが確認された。
- ファカルティ・ディベロップメントを全学的に取り組んでいることが確認された。
- 今後は現職教員に対する研修の観点から、免許状更新講習の開講などを通して更に地域に貢献していくことを期待する。